

新潟大学附属長岡中学校の紹介

教育目標 「知性と品位をもち 社会を興す人となろう」

重点目標 ○創造ある学び ○豊かな感性 ○たくましい心身

1 教育目標と本校の目指す教育

本校は、中学校生活が生徒にとって「将来自信をもって社会に出て行くことができるための人間の基礎づくり」の3年間であると捉え、「学力・心・からだ」の3つをバランスよく育みます。すなわち、目標を明確にして学習し、教師や仲間とかかわり合い、たくましさやさしい心、健康な身体づくりを目指します。

生徒が本来もっている「学びたい」という気持ちを大切にし、一人一人のよさを生かし自己実現が図られるよう支援します。自ら問題を発見し、自ら学び、自ら考える楽しさを追究していく授業の創造に情熱を注いでいます。

また、学校は生徒一人ひとりにとって、精神的に安心し生活できる場所ではなくてはなりません。そのため、人的・物的な教育環境の整備に努めながら、自分を大切にするとともに、他の人を大切にし、互いに認め合うことを通して、豊かな人間性の育みを進めます。

本校の教育目標を理解し、将来に夢を抱き、自らの目標に向かって歩んでいきたいと考えている子供たちの入学をお待ちしています。

2 学校の特徴

(1) 附属学校の3つの使命とは

① 新潟大学の附属校として、大学と協力しながら教育の在り方を研究しつつ教育活動を推進しています。毎年1回、教育研究協議会を開催し、中越地区を中心とする教職員の研究・研修の拠点としての役割を担っています。

平成22年度からの7年間は、文部科学省の研究開発学校指定を受け、「社会的な知性を培う」ことに力を入れた幼小中12年間の学びをつなぐ一貫教育カリキュラムを創り上げました。さらに、平成29年度から4年間、「新たな世界を創り出す子供をはぐくむ」ことを目指し、文部科学省から研究開発学校指定を受けました。現在本校は、「自ら動き出す子供の育成」を目指した研究を推進しています。

② 新潟大学教育学部を中心とする学生の教育実習校として、毎年150名程度の実習生を受け入れています。次代の教育を担う人材を育成し、在学する生徒にとっても多くの学生との活動を通して多面的な人間交流を行っています。

③ 市町村の公立中学校と同様に、教育関係法規に基づき、前期中等教育を実施しています。

(2) 幼・小・中の三校園が併設

同一敷地内に附属幼稚園、附属長岡小学校が併設されており、幼小中が連携した特色ある教育活動を推進しています。

(3) 学級数・生徒数・職員数

各学級 35 名（7 年度 1 年生）、40 名（7 年度 2・3 年生）程度の生徒数、各学年 3 学級で全校で 9 学級、全校生徒約 340 名程度の学校です。教職員は、校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・養護教諭・非常勤講師を合わせ 25 名（7 年度）です。

(4) 授業と部活動

授業を大切にするとともに当校の研究成果を生かした特色ある教育活動を行っています。本校の特色である「ものづくり科」は文部科学省の研究開発指定を受け、現実の社会問題をテーマに、地域の方や仲間とともに、持続可能な社会の実現を目指した学習活動を行っています。なお、7 年度をもって部活動は廃止となります。

(5) 進路指導について

生徒自身が主体的に進路選択・決定ができるよう、“自分らしさ”を知り、豊かな生き方を探る機会を積極的にもちます。1 年生から計画的に進路指導を進め、各学年で教育相談を実施します。また、7 月と 11 月に行われる進路説明会は 3 年生保護者・生徒を中心に 1・2 年生の保護者からも参加していただけます。各学年での進路学習を通し、生徒自身が自らの生き方を探り、多様な進路選択を考えます。

年間行事等（年度によって若干の違いがあります）

- 4 月 始業式、入学式、PTA 総会・授業参観
- 5 月 学友会（生徒会）総会①、実力テスト①、避難訓練、春の公開授業（教育研究協議会）、校園大運動会、入門教育実習
- 6 月 単元の確認①、春期教育実習
- 7 月 進路説明会、保護者面談①
- 8 月 学校説明会、単元の確認②
- 9 月 教育実習（観察実習）
- 10 月 秋期教育実習、学校遠足、単元の確認③
- 11 月 音楽発表会、実力テスト②（3 年）、立会演説会（学友会役員選挙）、秋の公開授業（教育研究協議会）、進路説明会
- 12 月 入学者選考検査、新入生入学説明会、保護者面談②
- 1 月 実力テスト②（1・2 年）、三者面談（3 年）、避難訓練
単元の確認④（3 年）
- 2 月 単元の確認④（1・2 年）、学年 PTA（1・2 年）、修学旅行（2 年）
- 3 月 卒業式、終業式